

一人ひとりの回答が、明るい未来の礎になる。

2019年

全国家計構造調査

—— 今を知り 明日をみつめる 暮らしの統計 ——

全国家計
構造調査



全国家計
構造調査



全国家計
構造調査



全国家計
構造調査



全国家計
構造調査



全国家計
構造調査



全国家計
構造調査



全国家計
構造調査



全国家計
構造調査



全国家計
構造調査



全国家計
構造調査



全国家計
構造調査



全国家計
構造調査



全国家計
構造調査



全国家計
構造調査



全国家計
構造調査



全国家計
構造調査



全国家計
構造調査



全国家計
構造調査



全国家計
構造調査



全国家計
構造調査



全国家計
構造調査



全国家計
構造調査

実施期間 10月・11月

全国約90,000世帯の方を対象に、調査員が家計簿等の調査票を配布・回収いたします。
調査員が伺いましたらご回答をお願いいたします。

全国家計構造調査

<https://www.stat.go.jp/data/zenkokukakei/2019/>

全国家計構造調査

検索



総務省統計局・石川県・白山市

【問合せ先】

白山市企画振興部

情報統計課

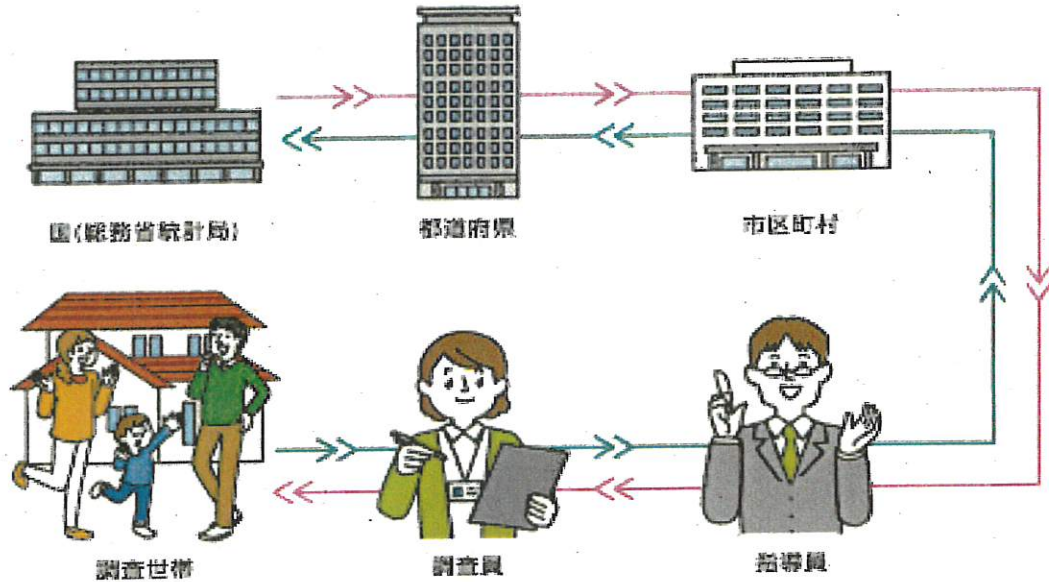
TEL 076-274-9508 (直通)

全国家計構造調査ってどんな調査なの？

全国家計構造調査は、家計における消費、所得、資産及び負債の実態を総合的に把握し、世帯の所得分布及び消費の水準、構造等を全国的及び地域別に明らかにすることを目的とし、「統計法」という法律に基づいた基幹統計として実施します。この調査は1959年から5年ごとに行われ、今回が13回目に当たります。



次のような流れで調査を行います



調査の結果は、具体的にどのように使われるの？

例えば、高齢者への年金給付額を検討する際、高齢者の消費支出はどれくらいなのかを把握する必要があります。一方、現役世代の保険料負担額を検討する際にも、消費状況の把握が必要です。そのため、年金制度についての検討資料として、厚生労働省では、全国家計構造調査の結果を用いています。

また、OECD（経済協力開発機構）の基準による国際比較可能な所得格差や資産格差の集計や、家賃負担や住宅ローン返済の実態の把握など、様々な場面で利用されています。なお、主要各国でも日々の収支を家計簿に記入する方式の調査が行われています。

どうしてこの地域が調査対象となったの？

全国すべての世帯について調査を行うには、膨大な費用と時間と人手が必要になります。そこで、一定の統計上の抽出方法によって一部の地域を選んで調査し、全体を推計する方法を利用しており、その結果、この地域で調査することとなりました。



調査員はどんな人？

統計調査員は、調査対象の方々を訪問し、調査票の記入依頼や調査票の回収といった統計調査の仕事の中でも基本的で重要な部分を受け持っています。全国家計構造調査の調査員は、都道府県知事が任命した地方公務員です。調査員には、「調査員証」が交付され、必ず携帯しています。

